

日本国内閣府気付 外務大臣 岸田文雄様

広島市長 松井一實様

広島市御担当課 健康福祉局原爆被害対策部調査課 御中

(写し) 日本国内閣府気付・内閣総理大臣 安倍晋三様

2017年7月7日に国連総会で採択された「核兵器禁止条約(案)」に対

する。報道されない被爆者からの異見表明

添付書類「広報番号：HA2017-07/2」

平成29年7月吉日

前略

表題の条約案が国連総会で採択されました。採択の瞬間の高揚感溢れる映像とともに、日本政府が投票を不参加したことを批判する報道がありました。

私達は、日本政府の不参加判断を支持します。そして今後締約しないように求めます。また、条約案8条と9条で構成される「招待されたオブザーバーの費用を非締約国が負担する」条項に強く反対し、いかなる形であれ、公金を支出されないようにも求めます。

今年の広島・長崎の平和宣言、および要望を聞く会において、条約案への称賛と日本の不参加を非難することが予想されますが、これは被爆者全体の統一意見ではないと、ご認識下さい。

私達は世間的露出度の大きい「被爆者団体」とは別の被爆者団体として、採択された条約案を縷々点検した上で、前期の見解に達しました。意見と検討書を提出いたします。御一読願わしく。

早々

平和と安全を求める被爆者たちの会